

### Ⅲ 令和元年度「体育・スポーツ推進計画」主要施策の実施状況

#### 基本施策（6つのリンク）別総括

（記載様式1号）

#### リンク B 運動・スポーツを楽しむための健康・体づくり

##### 施策1 ライフステージに応じた運動・スポーツの推進

目標・方向性 日常生活の中での運動習慣の定着を図る

生きがいを感じられるスポーツ環境を推進する

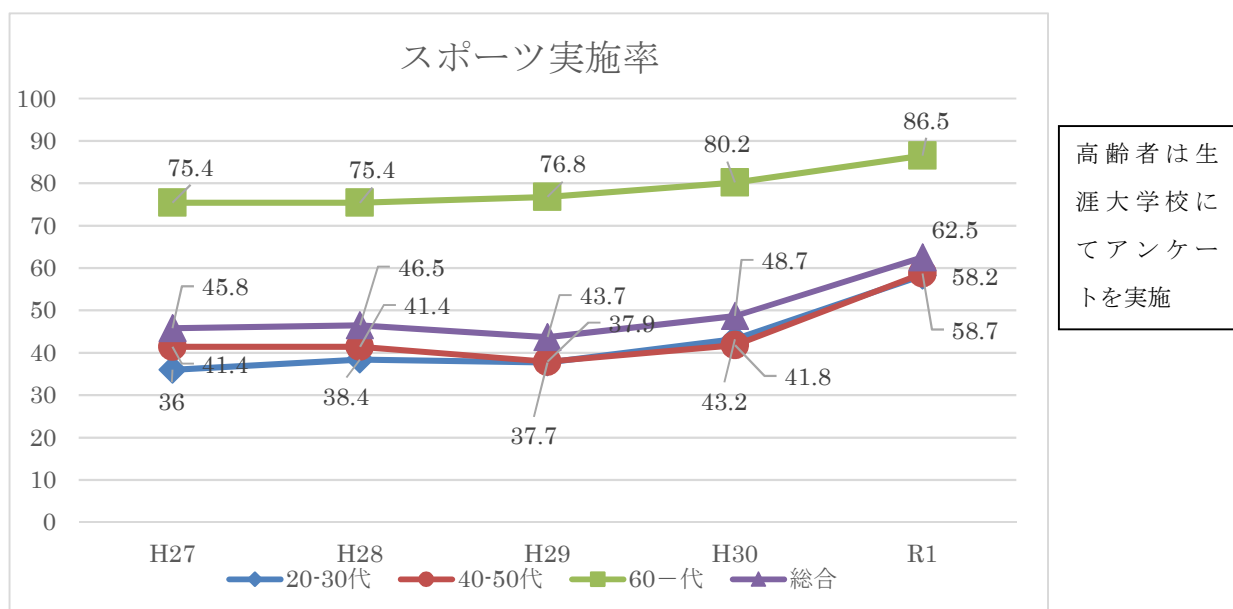
ア 健康ちば21（第2次）の推進

イ 働き盛り・子育て世代のスポーツの推進

ウ シニアスポーツの推進

基本指標	前年度（H30）	達成状況（R1）	目標（R3）
○成人の週1回のスポーツ実施率	20～39 歳 43.2%	58.2%	45.0%
週1回以上、スポーツを実施する割合	40～59 歳 41.8%	58.7%	50.0%
	60 歳～ 80.2%	86.5%	経年増加
	平均 48.7%	62.5%	60.0%

（基本施策指標）



#### （総括）

- 健康・体づくり指導者研修会を開催し、個々の身体の状態に合わせた適切な運動を指導できるよう、指導技術の向上を図りました。
- 日常生活の中で**手軽に**できる運動について、「WORK+10（ワークプラステン）」リーフレットの配付及びホームページでの啓発・普及を行いました。
- 各市町村独自の体操についての取組を把握し、県ホームページにおいて情報提供しました。
- 平成24年度より毎年10月を「スポーツ立県ちば推進月間」を設定し、県立スポーツ施設無料開放など場の提供、「スポーツ立県ちば推進月間」関連イベントの実施や紹介など機会の提供、スポーツイベントや公共スポーツ施設情報を提供する新たなコンテンツ「千葉県スポーツ情報センター」の配信などを行っています。また、「スポーツで元気いっぱい、親子体験イベント」を総合型クラブと小学校で連携して行い、スポーツ体験がきっかけとなって、スポーツが習慣化されるよう啓発に努めました。

- この施策の指標である世代別の成人のスポーツ実施率は、どの世代においても昨年より上昇したものの子育て・働き盛り世代の低迷が続いています。

### シニアスポーツの推進

- 本計画において、「個人の体力及び状況に応じた運動の推進」及び「高齢者の運動を通じた交流活動の推進」を重点的な取組として、具体的には、老人クラブにおけるシニア・スポーツの推進、ねんりんピックへの選手団派遣、千葉県福祉ふれあいプラザの介護予防トレーニングセンターの運営等を実施しました。

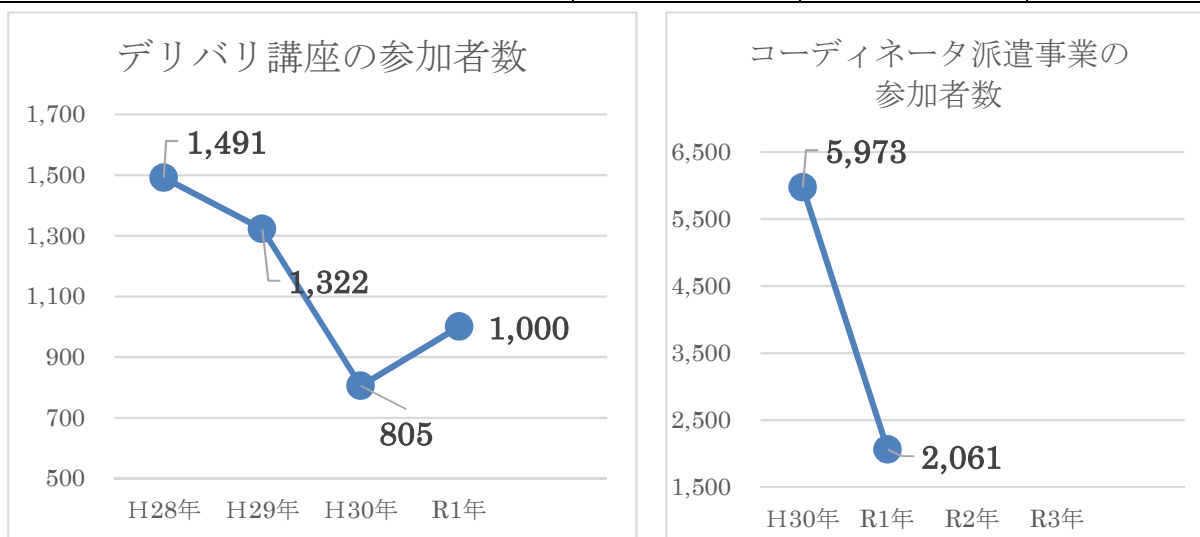
## 施策2 障害のある人の運動・スポーツの推進

目標・方向性 障害のある人がスポーツに親しみやすい環境整備を推進する

ア 障害者スポーツ・レクリエーションの推進

イ スポーツ施設の活用

基本指標	前年度 (H30)	達成状況 (R1)	目標 (R3)
○デリバリ講座の参加者人数	805 人	1000 人	2,000 人
コーディネータ派遣事業への参加者人数	5973 人	2061 人	経年増加



### (総括)

- スポーツ・レクリエーション活動は、障害のある人の健康保持や社会参加の重要な要素であり、これらを通じて、障害のある人同士または障害のある人と障害のない人の交流が生まれ、相互の理解や連帯感が高まるという効果も期待されます。
- 障害のある人やその支援者のみが参加するスポーツ・レクリエーション活動に加えて、必要なボランティアなどの支援体制を確保した上で、一般のスポーツ・レクリエーション活動に障害のある人が参加できるようにすることも重要です。  
そのため、県では、スポーツ・レクリエーションを支える団体・施設の充実、スポーツ・レクリエーションイベントの開催、スポーツ指導者の育成などを行いました。
- この施策の指標であるデリバリ講座への参加者人数は 1000 人でした。また、コーディネーター派遣事業（平成30年度からの新規事業）への参加者数は 2061 人でした。